

2021年度 日本家族看護学会 総会
議事録

日時:2021年9月25日(土)13:00—14:20

場所: Zoom による開催

参加者(敬称略・順不同):

理事:上別府圭子、法橋尚宏、奈良間美保、荒木田美香子、中野綾美、
児玉久仁子、池田真理、野嶋佐由美、井上玲子、佐藤伊織、深堀浩樹

監事:山口桂子、式守晴子

学術集会長:浅野みどり(第27回)、山本則子(第28回)、濱田裕子(第29回)、山崎あけみ(第30回)

幹事:キタ幸子(書記)、鈴木征吾(入室管理等)

I. 開会の辞

・上別府圭子理事長より、COVID-19 感染流行が続く中、看護職として貢献している会員の皆様への謝意が示された。特に家族の面会制限の中での家族看護の経験の共有は、非常に重要であると考え、会員の皆様へ、アンケートをお願いしているのでご協力いただきたいことが話された。更に、理事会では昨年度総会より、法人化の検討を進めてきた経緯から、本日、総会でご説明し、法人化を承認していただくと、本学会設立28年目にして歴史的な日になることが伝えられた。

・深堀庶務理事より、9月16日時点で委任状提出者199名、事前の出席予定者31名であり、本日の出席者は理事・監事を含めて32名で合計、231名となり、会員数1588名の10分の1を超えているため、会則第16条に従い、総会が成立することが説明された。

II. 議長選出

・深堀庶務理事より、慣例では、学術集会長に議長をお願いしているが、今回の総会は、学術集会と異なる日に設定していること、Zoomでの開催となり進行を円滑に進める必要があることから、昨年度の総会と同様に、上別府理事長が議長を務める旨が提案され、承認された。

III. 報告事項

1. 庶務報告

1) 会員・会費納入状況報告(報告資料1)

・深堀庶務担当理事より、報告資料1の通り、2021年6月30日現在の会員数は1588名、そのうち858名の方に2021年度の会費をお支払いいただいていることが報告された。

2) 理事会・評議員会・総会報告(報告資料2)

・深堀庶務担当理事より、2020年度は5回の理事会、1回の評議員会を開催し、第27回学術集会時に総会を開催し、2021年度はこれまでに3回の理事会と1回の評議員会を開催していることが報告された。本日の理事会・評議員会では、各委員会の活動、一般社団法人化、総会の進行等について検討や意見交換が行われたことが報告された。

2. 2020・2021 年度報告

1)委員会報告(報告資料 3)

- ・各委員会委員長から報告資料 3 に沿って委員会報告がされた。
- ・奈良間理事(編集委員会委員長)より、投稿規定の改正、投稿時チェックリストの検討、COI 申告書の作成、機関誌に関する課題の検討を行っている旨が報告された。
- ・法橋副理事長(研究促進委員会委員長)より、第 7 回家族看護学研究セミナーを 2021 年 10 月 2 日(土)もしくは 3 日(日)、第 8 回家族看護学研究セミナーを 2022 年 2 月 26 日(土)に開催予定であることが報告された。また第 7 回日本家族看護学会研究奨励賞受賞論文を選考し、日本家族看護学会第 28 回学術集会内で表彰する予定であること、国際交流委員会との協働で、Journal of Family Nursing(JFN)とのアブストラクト交換を行う予定である旨が報告された。
- ・児玉理事(実践促進委員会委員長)より、家族看護実践セミナーを 2021 年 7 月 4 日(日)に開催し、2022 年 1 月 30 日(日)でも開催予定である。第 28 回学術集会では、委員会企画を開催予定である。家族支援専門看護師による「よろず相談」は、計 4 回(学会会期中、2021 年 7 月 4 日、11 月 14 日、2022 年 1 月 30 日)オンライン相談を開催予定である。
- ・中野理事(教育促進委員会委員長)より、家族看護学教育について話し合うネットワークづくりのための第 3 回ミーティングを 9 月 20 日(月)に開催したことが報告された。また第 28 回学術集会において、委員会企画を開催予定である。現在、家族看護を学際的に学習する教育セミナーを企画中であることが報告された。
- ・池田理事(国際交流委員会委員長)より、本学会の英語版等リーフレットを用いた広報を行うなど、International Family Nursing Association(IFNA)との連携強化に向けた活動を行っていることが報告された。また『Journal of Family Nursing(JFN)』と「家族看護学研究」との論文要旨の翻訳支援を行ったこと、国際交流活動に関する会員向けの情報提供に向けて、15th International Family Nursing Conference の報告、委員会報告などが記載されたニュースレターを 2 回/年(7 月・2 月頃)発行する。更に、国際交流委員会セミナーとして、海外の家族看護実践に関連したセミナーを実施し、第 28 回学術集会(令和3年9月)では委員会企画を開催予定である。その際には、相互交流が可能な Google フォーム等を用いたアンケートの実施を計画している。
- ・荒木田理事(広報委員会委員長)より、学会HPの見直し、WebNewsの作成実施(1-2 回程度:研修報告、学会報告など)、メールマガジン(2 カ月に 1 回)の発行を行っている旨が報告された。また、随時、HPへの記事の掲載を行っている。第 28 回学術集会では、ワークショップを開催予定である。
- ・井上理事(将来構想委員会委員長)より、評議員のための活動助成事業に対して、1 組が採択され、採択者の事業が円滑に行えるよう支援していくことが報告された。また 2022 年度法人化に向け、関係部署と連携し準備を行い、円滑な移行を行っていくこと、役員選挙の準備、作業の支援を行うことが報告がされた。2022 年度評議員のための活動助成事業の公募を行う予定である。
- ・森山理事(社会活動・政策委員会委員長、代 深堀理事)より、小児期から成人期へのトランジットケアに関する教育カリキュラム、書籍の作成(今年度に完成予定)、看保連における活動を行っていることが報告された。
- ・野嶋理事(災害対策委員会委員長)より、2020 年に抽出した 196 の「災害時の家族看護支援方法」を、災害×家族看護領域の専門家 3 名の意見を踏まえて、56 の「災害時の家族看護支援方法」として洗練化したこと、これに基づいて、Focus Group 方法あるいは実態調査などを計画中であることが報告された。

2. 災害看護学と家族看護学に関する教育セミナーなどを検討している。

2)第 27 回学術集会報告(報告資料 4)

・浅野前学術集會長より、報告資料 4 に沿って、第 27 回学術集会に関する報告がされた。

3)第 29 回学術集会(2022)、第 30 回学術集會長(2023)について

・上別府理事長より、第 29回学術集會長(2022)、第30回学術集會長(2023)について、慣例では審議事項の後に報告していたが、今年度は報告事項の中でご報告し、審議終了後浅野第 28 回の山本学術集會長を含め3名の学術集會長に挨拶する形式となったことが報告された。

・第 29回学術集会(2022)は九州大学 濱田裕子先生、第 30 回学術集會長(2023)は、大阪大学 山崎あけみ先生に学術集會長をお願いすることとなった旨が報告された。

3. その他

特になし。

IV. 審議事項

1. 1号議案. 2020 年度決算報告および監査報告(審議資料 1)

・佐藤会計理事より、審議資料1に従い、2020 年度決算報告がされた。山口監事より、監査報告がされた。

・参加者の承認多数により、本議案は承認された。

2. 2号議案. 利益相反管理委員会の創設(審議資料 2)

・深堀庶務担当理事より、審議資料2に従い、本学会の編集委員会からの提案、日本看護系学会協議会において利益相反検討ワーキンググループによりガイドラインが策定されたことを受け、利益相反の適切な管理のために利益相反管理委員会を設けることが提案された。

・参加者の承認多数により、本議案は承認された。

3. 3号議案. 2022 年度 委員会事業計画案(審議資料3)

・深堀庶務担当理事より、2022 年度の事業として資料 3 にある事業を行うことが報告された。基本的にはこれまでの事業の継続・発展に取り組み、将来構想委員会の事業計画 の一部はこの次の審議事項4で法人化が承認された場合に行われる事となる旨が報告された。

・参加者の承認多数により、本議案は承認された。

4. 4号議案. 日本家族看護学会の「一般社団法人化」(審議資料4)

・上別府理事長より、来年 4 月 1 日の法人化を目指して本格的な検討を行っていることが報告された。審議資料4に従い、審議事項、法人化の検討とこれまでの経緯、法人化の意義、事業の承継、総会の変更及び選挙、今後の法人化に向けたスケジュールが説明された。

・参加者の承認多数により、本議案は承認された。

・承認を受けて、2022 年度新役員選挙に向けた選挙スケジュールは、下記の通りである。

【2021 年度】

12 月 1 日 選挙告示(学会 HP、マイページ、メール配信)

3 月 11 日 Web 選挙案内を通知(投票期間:3 月 15 日~4 月 5 日)

【2022 年度】

4 月 24 日 評議員の確定

5 月 22 日 理事・監事の確定

5 月末 選挙結果開示

6 月末 定時社員総会 新役員報告、承認

5. 5号議案. 2022 年度予算案(審議資料 5)

- ・佐藤会計理事より、2022 年度予算案(法人化を踏まえた)が報告された。
- ・参加者の承認多数により、本議案は承認された。

6. その他

- ・上別府理事長より、法人化承認への所感が述べられた。

28 年間任意団体として運営してきた日本家族看護学会から、2022 年 4 月 1 日、一般社団法人日本家族看護学会として、再スタートを切る。法人化後は、社会的な信頼を得られるため、家族支援専門看護師の方の活躍を初めとする家族看護の実践を公に認めてもらうべく積極的に政策提言を行ったり、各種団体との連携、たとえば学術会議に委員の推薦を堂々に行ったりすることができる。次世代の皆さんに、活躍の機会を開くことができるのではないかと期待する。最後に承認への感謝が述べられた。

V. 第 28 回・第 29 回・第 30 回学術集会長からの挨拶、閉会の辞

- ・第 28 回学術集会長である山本則子先生より、第 28 回学術集会のプロモーションビデオが共有された、プログラムに関する情報が提供された。
- ・第 29 回学術集会長である濱田裕子先生より、第 29 回学術集会のテーマやプログラムが共有され、2022 年 9 月 9 日(土)、10 日(日)@福岡国際会議場で開催されることが報告された。
- ・第 30 回学術集会長である山崎あけみ先生より、2023 年 9 月 9 日(土)、10 日(日)@大阪大学コンベンションセンターで開催予定であり、必要時は、オンラインやハイブリット開催の検討も行っている旨が報告された。
- ・上別府理事長より、閉会の挨拶がされた。